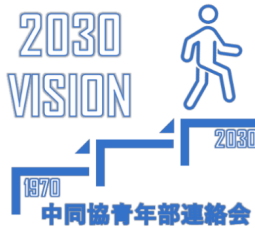


中同協2030ビジョン



われわれ青年経営者で次代に誇れる豊かな世界を創ろう！

1. 学びを体現する次世代リーダーとして全人格的成長を遂げよう。
2. 多様性を生かし人と地域が輝く企業をつくろう。
3. 本気本音で関わる仲間を地域に増やし世界と繋がろう。

1970年に生まれた同友会青年部活動は、各同友会に広がりを見せ、40年後の2011年に中同協青年部連絡会が設立。2013年には中同協青年部連絡会2020ビジョンを発表することになりました。2020ビジョンは「われわれ青年経営者で世界に誇れる日本の未来を創ろう！」

として、尊敬される次代のリーダーとして全人格的成長をめざすこと。学びを経営実践し、市場と雇用を創造し、社員が輝く企業をつくることとして、共に切磋琢磨する青年経営者の仲間を地域に増やしてきました。その絶え間ない実践をつづけた結果が、われわれ青年経営者が目指してきた2020年として、同友会青年部会活動が生まれて50年目を迎える事となりました。

2020年、世界は大きな岐路を迎えました。新型コロナウイルス感染症が世界中で蔓延し、日本では、外出自粛や、サービスや小売業を中心として営業自粛要請など、豊かな世界とは程遠い現実が目の前には広がってしまいました。そんな中でも、次代は今よりももっと世界が近くなり、共に育ち、共に生きていく世界になります。労使見解に、「経営者である以上、いかに環境がきびしくとも、時代の変化に対応して、経営を維持し発展させる責任」とあるように、人を生かす経営を実践し、次代へ誇れる豊かな世界を創っていきたいと考えます。

次世代のリーダーとして「学びを実践」するから「学びを体現する」へのステップアップが必要です。「全人格的成長」は「目指す」から「遂げよう」へと、その成長は未来へ続きます。そして、中小企業は地域のインフラ。中小企業に関わる人が人間らしくイキイキ生きることで、幸せな増え豊かな地域・世界に繋がっていくという思いがあります。多様性のある人が人間らしく「生きる」ことこそが、人と地域が輝いていきます。

IT技術の発展により、以前よりはるかに全国の仲間と簡単に繋がれるようになりました、しかし、変わらないのは切磋琢磨ができる仲間との本気本音の関わりです。大切なのは、視座を高めること。われわれ青年経営者は、活動に一層厚みを持たせ、学びの質と量を高め、地域に仲間を増やし、全国の仲間と繋がり、さらには世界へ同友会理念を発信し、世界とつながる最初の世代になりたいと強く思います。

「われわれ青年経営者で次代に誇れる豊かな世界を創ろう！」のもと、第1に、学びを体現する次世代リーダーとして全人格的成長を遂げよう。第2に、多様性を生かし人と地域が輝く企業をつくろう。第3に、本気本音で関わる仲間を地域に増やし世界とつながろう。

次代に向けて絶え間ない実践を誓い、中同協青年部連絡会2030ビジョンとして宣言します。

2020年9月18日
中同協青年部連絡会
第48回青年経営者全国交流会